

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 村 木 勝 也

調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間

令和6年1月22日(月)～23日(火)

2. 視察内容

- ①「三桜酒造跡地」における、酒蔵のリノベーションの方策、利活用の可能性について(兵庫県淡路市)
- ②出生率2.95の奇跡の町における「子育て支援策」について(岡山県奈義町)

3. 視 察 先

- ①関西ハウス工業株式会社
 - ・①-1 事務所
 - ・①-2 家屋リノベーション現地「古淡」「松陰」
 - ・①-3 酒蔵リノベーション現地「本田酒店」
- ②兵庫県勝田郡奈義町役場

4. 調査経費 26,121 円

(経費内訳) 浜田市→兵庫県淡路市→岡山市泊→岡山県奈義町→浜田市

宿泊代	7,800 円
レンタカー代	8,525 円
有料道路代	3,838 円
ガソリン代	2,208 円
駐車場代	250 円
行政視察料(奈義町)	3,500 円

5. 調査研究活動の概要

別紙のとおり



〔調査研究活動の概要〕

【酒蔵の利活用について「酒蔵リノベーション」】

■視察項目

- 空き家等廃屋を資源ととらえ、リノベーションすることで、賃貸物件や、観光資源として、再生をしている。その考え方について学ぶ。

〈関西ハウス工業の概要〉

- ・ 会社名 関西ハウス工業株式会社
- ・ 創業 昭和 27 年 5 月
- ・ 法人設立 昭和 37 年 4 月
- ・ 資本金 20,500,000 円
- ・ 事業所 兵庫県淡路島市生穂 1803 番地の 2
- ・ 事業内容
 - 民間企業の施設(事務所・店舗・工場など)設計施工
 - 民泊施設等のリノベーション
 - 各種建築物のメンテナンス
 - 個人住宅の(新築・リフォーム)設計施工
 - 宅地建物取引業(自社賃貸物件の管理運営)

1. 事務所での説明

●説明者

総務部 部長 奥村祐馬 様

建築部 部長 川西悦司 様

明石営業所 所長 建築部 部長 北邨亮介 様

●視察者

- ・ 浜田市における「酒蔵」の現状について説明→更地での買取。
- ・ 浜田市においては、「酒蔵」の良さがわかっていない。
- ・ 壊すことは簡単であるが、元に戻すことはできない。

●事業所

- ・ 本田酒店は築 100 年以上であったが、梁などは活かし、基礎に改修を施した。
- ・ 「三桜」の写真を見るに、全然きれいな建物である。
- ・ この写真の「三桜」を壊すのはもったいない。
- ・ 昨今の SDGs から酒蔵のリノベーションは考えられている。
- ・ また、流行りのカフェにもなりうる。
- ・ 淡路市では、阪神淡路大震災の被災で酒蔵のような建物が少ないからこそ残す動きがある。



2. 古民家リノベーションの紹介「古淡」「松陰」

関西ハウス工業株式会社の空き家のリノベーション技術の紹介として、次の2事例を示され、視察しました。

「古淡」※1日1組限定の貸切宿



「松陰」※総合ワーケーション 研修道場



3. 酒蔵リノベーションの紹介「本田酒店」

[工事の概要]

- ・ 歴史ある酒蔵の全面リノベーションの依頼があった。
- ・ 近年では、ほとんど使用されることが少なくなっている空間を復活させたという施主様の要望に応えた。
- ・ 1階には、キッチンやリビング(和室)等の居住空間を新たに設けた。
- ・ 2階は、長年使われた酒造りの道具や、写真、資料などを飾るギャラリースペースとした。
- ・ 築年数 約 100 年
- ・ 規模 2 階建て
- ・ 延床面積 295.00 m²

本田酒店様〔古民家再生〕

リフォーム前 (BEFORE)



リフォーム後 (AFTER)



【子育て支援策について「出生率 2.95 の奇跡の町」】

今回の視察は、当方を含め 5 市町による合同の視察となりました。なお、その内 1 団体は、オンラインであり、現地では 37 名でした。

説明者:情報企画課 副参事 小坂昌平 様

■調査項目

- ・奈義町役場 職員 83 人
- ・合計特殊出生率 2.95% 令和元年度
- ・少子化対策～町全体での子育て

1. 奈義町について

- ・昭和 30 年 2 月 3 村合併により「奈義町」が誕生
- ・平成 14 年 12 月 合併の意思を問う住民投票を行い「単独町制」を決定
- ・面積 69.52k m²
- ・人口 5,751 人(2023. 3. 1 現在) ※2022. 4. 1 時点 5,725 人
- ・世帯 2,533 世帯(2023. 3. 1 現在)
- ・特色 自衛隊
 - ・日本原駐屯地
 - ・日本原演習場 14,66 k m²
(奈義町分 11.94 k m²)=行政区の約 2 割
- ・子育て関連施設
保育園 1 園・幼稚園 2 園 → 令和 6 年春 こども園 開園(予定)
小学校 1 校
中学校 1 校 → 令和 6 年春 建て替え完了(予定)
子育て支援施設 → 令和 2 年度 全面リノベーション
(チャイルドホーム)
令和 5 年 9 月～ 奈義保育園でおむつのサブスクを導入

2. 少子化対策の意義

- ・問題と課題
少子化対策は、子育て世代だけの問題ではない。
だからこそ、課題を住民と一緒に考える
「少子化対策は最大の高齢者福祉」
- ・平成 24 年 4 月 1 日 子育て応援宣言
- ・令和 5 年 6 月 13 日 こどもまんなか応援サポーター宣言
- ・有効な少子化対策は何か
子どもは 2 人以上欲しいけど
 - ・子育てや教育にお金がかかりすぎる。
→妊娠・出産、子育てまで切れ目のない経済的支援
 - ・高年齢で産むのが嫌
 - ・育児の心理的、肉体的に負担に耐えられない

- 出産、子育て等に係るメンタル的支援
 - 子育てにやさしい地域づくり、機運醸成
- ・奈義町は子育てしやすい環境？
 - 奈義町が抱える地域課題の解決(住む、働く)

3. 奈義町の子育て支援施策

① 経済的支援の主な例

- 在宅育児をする保護者に毎月 15,000 円の支援金
- 高校生への就学支援として年額 240,000 円の支援金
- 大学生に町独自の奨学育英金、卒業後に町への定住で全額返済免除
- ・町の一般会計予算規模 約 45 億円のうち子育て支援単独事業約 2 億円(一般会計に占める割合 4~5%)

② メンタル的支援・機運醸成～産前産後ケア

- ・保健師による母子手帳交付時の面談
- ・きずなメールによる情報発信
- ・保健師による新生児全戸訪問
- ・母乳相談
- ・産後ヘルパー
- ・産前産後アプローチの更なる推進
 - 今後実施予定事業
 - 心理士による産前産後のカウンセリングの導入
 - 父親の子育て力アップ事業
 - 子育て適応包括支援尺度(CPRA)を活用した個別支援
- ・なぎチャイルドホーム
 - 常駐する「子育てアドバイザー」
 - 町民同士で支えあう子育てサポート制度
 - 町民ボランティア 1時間 300円
- ・奈義町子育て応援宣言を公表(H24. 4. 1)

③ 地域課題の解決

- ・しごとコンビニ事業
 - 空いた時間にちょっとだけ働きたい×繁忙期にちょっとだけ手伝ってほしい
 - 事業主体 一般社団法人しごとえん
- ・奈義しごとえん
- ・子どもの見守り「こもりん」
 - 大人が交代制で子どもを見守れる仕組み
- ・企業誘致 全 16 社立地 約 800 名が就労
- ・賃貸住宅の整備
 - 満室
 - 賃貸住宅不足を解消するため、町で「民間賃貸住宅の建設」を助成
 - 賃貸若者向け住宅の建設(オール電化や浴室乾燥など子育て層の声に対応した賃貸住宅)

・分譲地整備

→分譲率 100%

→不足の対応

民間分譲地整備補助

エリア整備に向け PPP/PFI に着手

④ (番外)ナギフトカード

・機能 ナギフトポイント、ナギフト支援券、ナギフトマネー
給付金

・スマホ連携

・ICチップ入り 電子カード(全町民所持)

4. 高い合計特殊出生率の鍵は

「安心感」

- ・住むところがあって安心
- ・働くことができ安心
- ・子育ての負担が軽くなって安心
- ・子育ての悩みや喜びが共有できて安心
- ・町のみんなが子育てを応援してくれて安心

「特殊出生率」

・出生人数の維持

平成 14 年 54 人 1.83

平成 30 年 54 人 2.40

分母が違う。分母が減少。

町速報値 令和 2 年 2.25 令和 3 年 2.68



視察の様子



浜田市他 3 団体が合同視察



庁舎前に於いて

(所感)

① 「三桜酒造跡地」における、酒蔵のリノベーションの方策、利活用の可能性について（兵庫県淡路市）

- ・ 関西ハウス工業さんの「想いを築く」理念に感銘を受けた。
- ・ 施設は、とかく「ハコモノ」と言われるが、施設は、大切な空間であり、そこに「想い」があることを知った。
- ・ 新たな物を作るではなく、今ある物を活かし残すことを考えることは、正に「ふるさとを想う」私たちの仕事であると痛感した。
- ・ 思うに「三桜酒造の酒蔵」は、歴史的・文化的な価値はどうなんだろうとってしまう。しかし、それを思う前に、浜田に酒蔵があった事実を無くしてよいのかとってしまう。視察先の酒蔵の持ち主の方が「無くすことはあつという間」という言葉とても気になる。
- ・ 「三桜酒造の酒蔵」を残す、残さないをしっかりと議論したのだろうか。考えてみるに、私は、その酒蔵の中を見たことがない。外観も見える範囲だけである。令和5年3月の債務負担の議論の中で尽くしていない気がする。
- ・ しかし、議会からは、予算を提出できない。執行部としては、債務負担を議決すれば、そのように動くに決まっている。
- ・ 検討委員会においても、酒蔵のリノベーションが出たが、議決されたことからか、門前払いのような対応で、報告書にも一切載っていない。
- ・ 改めて、議決の大切さ、議論の大切さを知った。
- ・ 視察の途中、「岡山市」が施工主の酒蔵の外壁改修と出会った。とても微笑ましく思ったのは私だけだろうか。

[視察先で]

- ・ 視察先でこのような防災対策を見た。
観光者等においても有効ではと思った。

「<<<津波避難経路」



(所感)

② 出生率 2.95 の奇跡の町における「子育て支援策」について
(岡山県奈義町)

- ・ 正に「政策とは」を痛感した視察であった。
- ・ 町勢要覧を見ても、ここまで子どもを意識した優しく素敵なものを見たことがない。
- ・ 「少子化対策は最大の高齢者福祉」との考えは、正に町全体で子育てを考える「まちへの想い」を学ぶことができた。
- ・ 今を生きる私たちは、未来の創造者である考えの中、今住んでいる人を想う政策は、「未来に残せるもの」を探求する。
- ・ ソフトもハードもバランス良く、計画的に進めることが「安心感」につながり、次の世代につながる。→どのようなプロセスで事業化されたか知りたい。
- ・ 特に、ICチップ入り電子カード「多世代共生型ナギフトカード」や、保育園でのおむつのサブスク導入などは、とても興味を持った。